

平成元年度施政方針

大変貴重な時間をお許し頂きまして、誠にありがとうございます。

昭和天皇がお亡くなりになり、平成の時代が幕を開けましたが、この時代が、市民の皆様にとって平和で、幸せ多き歳月になることを御祈念申し上げます。

さて、平成元年第1回市議会定例会の開催にあたり、平成元年度の市政運営につきまして、私の所信と施策の大綱を申し述べさせて頂きたいと存じます。

私が市長に就任してから9か月余になりますが、この間、議員各位におかれましては、大変な御指導、御協力を賜っておりまして、心から感謝申し上げる次第でございます。

さて、国は第4次全国総合開発計画に基づき、地方分権や地方自治の振興、拡大ということから「ふるさと創生」を柱に、補助金等の特定財源から、交付金等の一般財源化へといった方向での改革を図り、消費譲与税、補助金等の見直し、地方交付税制度の変更等、いろいろの制度変化を進めているところです。

これらのことは、いずれも、地方自治体が、その独自性、個性あるまちづくり、主体的なまちづくりを進め、国はそれを支援するという方向への転換を示すものといわれています。

また、都は、第2次東京都長期計画にそい多摩地区へ目を向けるということから、知事を本部長とする多摩島しょ推進本部を置き、予算配分も大きく増やしてきております。

福生市は、お陰様で、議員各位並びに市民の皆様の御努力によって、高い水準の都市・生活基盤整備が進んで参りましたことは御承知のとおりであります。しかし一方では、近隣市町の急激な変貌の中で、かつて西多摩の玄関といわれたまちから、その地位がゆらいできているというようにも感じられるところでございます。

市民と行政が相互に協力し、創意工夫し、個性豊かで、独自性溢れる福生市づくりこそが、今ふるさとと呼べるまちを創っていくことになり、福生市が、自ら誇るに足る素晴らしいまちになるだろうと考えているところでございます。

このようなまちは、一朝一夕にでき上がるとは考えられません。長期的視点に立ち、英知を結集し、皆が参加し、協力し、総力を挙げて取り組まなければならないと考えます。

折しも、福生市は、平成2年には市制施行20周年という節目の年を迎えます。

従って、現在進めております福生市基本構想の策定によって、福生市のビジョンを確立し、着実にその方向に向かって行くことが必要でございますので、福生市基本構想審議会の御答申を得て、本年12月をめどに御相談申し上げます。

たまたま、国も「ふるさと創生」即ち『自ら考え、自ら行うまちづくり事業』を本格化し、都においても市町村活性化事業が始まる元年度、57,000人の市民が「私たちのまち」という意識を持ち、「私たちのまちづくりを執行していく」という形での『まちづくり事業』の具体化を、6月頃から進めていきたいと思っておりますので、よろしく御指導のほどお願い

申し上げます。

横田基地については、基地が存在するという事実のうえに立って、基地及び関係機関と綿密に連絡を取りながら、引き続き安全性の確保と周辺整備に努力して参りたいと思います。

さて、総合計画策定に先立ち、長いこと懸案になっております各事案等につきまして、その方向性を明らかにし、できるものから進めて行きたいと考え、努力いたしているところでございますが、その状況について御説明申し上げます。

一つには、福生駅西口再開発事業であります。地元の方々と度々話し合い、現在一定の方向が出せるよう検討頂いておりますので、今年夏くらいまでには結論付けていきたいと考えております。

二つには、熊川地区土地区画整理であります。これも、対象地区の方々の意向を確実にとらえるため、鋭意努力いたしております。結果をまって御相談申し上げます。結果をまって御相談申し上げます。

三つには、片倉跡地の利用についてでございます。本件については、新年度からの組織改正による行政推進担当を中心として、なるべく早く御相談のできるようにしたいと考えております。

四つには、学校であります。それぞれの事案等と相互に関連して参りますので、状況をみつつ詰めて参ります。

さて、元年度の予算につきましては、これらのことを背景に編成を進めたところでございますが、一般会計で、142億4,600万余円、対前年度比、7.4%の増、全会計では、210億2,300万余円、対前年度比、8.4%の増の予算案を御提案申し上げます。

予算案について、編成の考え方と主要な施策について申し述べます。

第一に、現総合計画の最終年であり、第2期総合計画の橋渡しの年として、実施計画に従って予算化を進めたところであります。

総合計画策定事業のほか、懸案事業について調査するため、行政推進調査、土木調査そして各種イベントを更に発展させるためのイベント調査等も進めて参ります。

第二に、行政改革であります。歳入面では、既に決定頂いている下水道使用料の改定、し尿汲み取りの有料化のほか、国民健康保険税の見直し等も行わせて頂きたいと思っております。御理解賜りたいと思っております。

さて、大変御心配を頂いております消費税につきましては、歳入において使用料、手数料に転嫁すべきものがございまして、諸般の事情から、4月からの実施については見送らせて頂きました。

歳出面においては、より合理的、効率的行政を目指す組織改正、OA化等による事務改善、

広報のタブロイド化等の改善も進めて参ります。

第三に、快適で美しいまちづくり、即ちアメニティ都市づくりであります。多摩河原公園（仮称）等の公園整備、市営住宅やごみ焼却炉の改築、都市景観事業等を引き続き進めるほか、牛浜駅、東福生駅関連の整備、福東地区の多目的広場整備、また市営住宅跡地を一時的に市民会館等公共施設の駐車場として利用することができるようにも考えております。

防災や安全、緑化等についても、引き続き施策を進めて参ります。

第四に、国際化や高齢化といった新しい流れにそう施策については、市勢映画の英語版の製作や青少年の海外派遣準備、高齢者のための施策のレベルアップを図っております。

第五に、健康と福祉面では、健康診査、予防接種の充実のほか、ボランティア、社会福祉協議会、保育行政、特殊疾病・身障手当等の見直しもしております。

第六に教育関係ですが、私費負担の軽減を図りつつ、家庭教育の手引きの発行、芸術文化鑑賞関係事業のレベルアップ等を図って参ります。

第七に、これらのことを進めるためには、「行政と市民が共に作りあげていく姿勢」が創られていくことが大切になりますので、情報の提供という点から、防災や税情報等の提供、広報の改善、市長への手紙や対話集会等、各種機会を通じて情報の交換とコンセンサスの形成に努めて参る所存でございます。

以上、主要な施策の項目について申し述べましたが、これらの詳細については、実施計画の中で明らかにしておりますので、御参照頂きたいと存じます。

いずれに致しましても、今、福生市の置かれている状況を考えますとき、長期的見通しの中で、今を、一步一步着実に創りあげていくことが求められております。

「やさしい心と強い実行力」を元年度のテーマとし、総力を挙げて取り組んでいく決意でございます。

どうか議員各位並びに市民の皆様におかれましても、「自ら考え、自らつくるまちづくり」の原点にそいまして、御指導、御協力を賜らんことを切にお願いいたしまして、元年度の施政方針とさせていただきます。

ありがとうございました。